



北橋 豊作 議員

魅力ある本市の農業施策

問

①各集落にある土地・労働力・機械等資源の有効活用のため集落単位での集落営農組織の育成は。②「伊予國あじの郷づくり」の実行性向上のため、本市独自の「いよし農林水産物認定制度」創設を。

答 産業建設部長

①自立した経営体を育成するには、構成員の意識改革、取組方針の合意形成を図り、経理事務の一体化を推進する上で、地域のリーダーが必要となる。今後も集落営農、法人化に向け、関係機関連

携のもと、集落座談会など、継続的に取り組む。

答 産業経済課長

②現在のところは、県が決めている「愛」あるブランドの農林水産物ブランド化を推進していきたいと考えており、今のところ市独自でブランド事業として、認定事業をつくるという考えはない。

しかし、意欲的にブランド化をしたいという作物、団体の意向があれば、ブランド化へ向け積極的に支援したい。

図書館及び文化会館建設における提案

問

①人々の本離れ対策として、「タブレット式ディスプレイ(*)」の導入は。②練習活動の市民への提供で野外ステージ併設を。③ソフト面で、ボランティアの活用、運用面ではメセナ活動の取組は。

答 春田教育長

①タブレット式ディスプレイには、豊富な情報を多くの利用者が共有できるなど、多くのメリットがある。

しかし、一方で端末提供業者の撤退や機器変更時の継続性に不安があることや、郷土資料の多くがデータ化されていない。落下等による損傷が懸念されることなどを理由として、図書館による電子出版の貸与が試験的な取組にとどまっているという現状もある。

いづれにしても、タブレット式の導入は国や先進地の動向を注視の上、相互貸借が可能な県内図書館と連携を図りながら、さらに調査研究を進め、慎重に検討したい。

答 総務部長

②近年のホール建設では、市民参加型の事例が増加している。これらのホー



改築が計画されている市立図書館

手段であり、検討材料と認識する。

*タブレット式ディスプレイとは、画面に直接触って操作する平板型の携帯できる情報端末を指し、電子書籍閲覧などに利用される。最近では、本を紙ではなく、電子書籍として利用する人もいる。

幼保一体化の実現

問

画一的でない多様な子育てビジョンの一環として、幼保一体化を将来の姿として検討しては。

答 中村市長

新システムは、これまでの幼稚園及び保育所の運営方法を大きく転換させるものと認識している。

法案の成立後には、幼保一体化への対応を適切に行うとともに、市民の要望に応じた保育サービスの実施を検討したい。